

事務事業評価シート

評価年度	平成30年度	対象事業年度	平成29年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	保健部 地域包括支援課 支援係 辻本 志津子	評価責任者(担当課長)	地域包括支援課 山本 歩未
----------	------------------------	-------------	---------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	在宅医療・介護連携推進事業	② 整理番号	02060302-003
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉	
	節	安心と健康、生きがいのある福祉社会の実現	
	項	高齢者福祉の充実	
	号	要介護者や要支援者が安心な暮らしづくり	
④ 関連する個別計画	第6期介護保険事業計画	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	介護保険法・大和高田市地域包括支援センター設置規則		

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	高齢者が、医療機関から在宅への退院時支援・日常の療養支援・在宅での看取り等、医療と介護の提供が切れ目なく行うことができる体制を整え、関係者に対する研修や協議の場等を通じて連携を密にしていくことを目的とする。
② 対象 (誰・何を対象として)	大和高田市の介護保険一号非保険者(65歳以上の高齢者)及びその家族 医療介護関係者
③ 手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護連携推進協議会の開催 ・在宅医療介護ハンドブック作成・活用 ・医療・介護連携シート作成・使用 ・入退院時の相談支援 ・医師会と合同で市民公開講座実施
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	高齢者及びその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるために、医療機関や介護事業所が連携し、医療と介護のサービスを一体的に提供する。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 直接事業費				303	(予算) 2,300
② 概算人件費	(0.00) 0	(0.00) 0	(0.00) 0	(0.63) 4,408	
一般職員(職員数)				(0.63) 4,408	
嘱託職員(職員数)					
臨時職員(職員数)					
③ 合計(①+②)	0	0	0	4,711	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)				3,792	1,857
⑤ 一般財源(③-④)	0	0	0	919	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	① 在宅医療介護連携推進協議会の開催回数	実施回数				1回
	② 入退院調整ルールづくり事業の取組回数	会議回数				
成果指標	① 市内4病院の連携室との会議開催回数	実施回数				1回
	② 入退院の相談件数	相談延件数				
効率指標	①					
	②					

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
① 妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	医療機関及び介護事業所が連携を密にし、医療及び介護サービスを一体的に提供するためには、医療介護関係者の連携がスムーズに行くためのツールや会議等は必要であり、今後も継続して実施していく必要がある。
② 有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	在宅医療介護ハンドブックや医療・介護連携シートを活用することで医療機関及び介護関係者の連携がスムーズに行く方法のひとつとなっている。また、医師会と合同で市民公開講座を実施しており、毎年参加者も多いことからニーズが高いことがわかる。
③ 効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	在宅医療・介護連携の課題と抽出と対応策の検討のための在宅医療介護連携推進協議会の実施、医療・介護関係者の連携や情報共有のためのツール、地域住民への普及啓発のための市民公開講座実施等は、高齢者及びその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるために必要であり、コストは適切である。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input checked="" type="checkbox"/> その他 今後も住み慣れた地域で、できる限り在宅療養を続けられるように在宅医療及び介護サービスを一体的に提供するため、多職種の連携のもと、在宅サービスの提供及び情報共有を行う体制づくりを推進していく必要がある。このため、現在の課題を整理し関係者で検討していくとともに、今後、他市町と合同で入退院調整ルールづくり事業取り組むことで、切れ目のない入退院ができることを目指していく必要がある。

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）